

# 体験寺子屋事業 実践事例（取組の一例）

実施区分  
1泊2日

## ■ 実施主体

小学校PTA、自治会関係者で組織する実行委員会

## ■ 参加対象

小学4～6年生

## ■ 実施・宿泊場所

小学校体育館

## ■ 事業の目的

- ☑ 防災講座や避難所運営体験を通し「自助」「共助」を学び、地域の防災力向上を図る
- ☑ 学校・家庭・地域の連携を図り、地域全体で子供たちを育む環境を整備する

## ■ 体験活動の内容

市町担当部局による防災講座、ペットボトルランタン作り、防災カードゲーム など

## ■ スケジュール

時間	1日目(金曜日)	2日目(土曜日)
6:00	学校 (終業後、児童集合)	・起床(6:00) ・ラジオ体操 ・朝食準備⇒朝食
12:00		・防災カードゲーム ・反省会 ・作文作成 ・閉校式(12:00)
18:00	・開校式(17:00～) ・自己紹介 ・夕食 ・防災講座	-
21:00	・ペットボトルランタン作り ・就寝(21:00)	

## ■ 経費内訳

歳入項目	金額	内容	歳出項目	金額	内容
補助金	40,000円	県補助金	報償費	0円	-
参加者負担	20,000円	500円 ×40人	旅費	0円	-
PTA負担	10,000円	-	需用費	59,000円	食糧費 材料費 消耗品費 印刷製本費 感染症対策
自治会負担	10,000円	-	役務費	10,000円	保険代
合計	80,000円		使用料	1,000円	施設使用料
			合計	80,000円	



## ■ 工夫した点

- ☑ 防災講座を市町担当部局による出前講座にて実施したため、報償費（講師料）の支出がかからなかった
- ☑ ペットボトルランタン作成キット、防災カードゲームを購入し（補助対象経費）、楽しみながら防災に関する知識を学ぶことができた
- ☑ 実行委員会をPTA単独でなく、自治会と一緒に組織したことで、負担の分散・軽減を図った